

防災塾・だるま 2026 年 1 月 22 日（木）定例会 議事録

会議名：防災塾・だるま

日時：2026 年 1 月 22 日（木）13:30～14:45

会場：関内 第 1 研修室 + Zoom 併用（案）

司会：伊藤 記録：(Zoom AI 併用)

出席：〔会場 横浜市青少年育成センター 一研修室 15 名〕

1. 開会（13:30）

1. 塾長あいさつ
2. 本日の議題・進行確認（決定事項／報告事項の切り分け）
3. 出欠・資料配布・Zoom 接続確認／記録方法確認
 - ・ 議事録は Zoom AI を併用するが、**意思決定は参加者の合意に基づくことを確認。**

2. 報告事項（13:40～14:25）

(1) 防災まちづくり大賞・現地調査（1/28）準備状況（担当：鷲山）

- ・ 1/28（火）16:30～、青少年育成センター第 2 研修室（集合 15:30）で現地調査対応予定。
- ・ 参加予定者の最終確定、役割分担、当日資料・説明ストーリーの確認を行う。
- ・ **持参資料**：活動実績、写真、受賞趣旨、マニュアル類、HP 画面提示等の整理が必要。
- ・ ：調査対応に向け、必要資料の整理・準備を進めることを確認。

(2) ホームページ更新状況（担当：樋口）

- ・ スマホ対応、年間活動計画リンク整備、年末更新の完了・残課題を共有。
- ・ ：イベント情報・カレンダー表示の更新／削除など、運用を継続する。

(3) 『命を守る防災の教科書』出版進捗（担当：鷲山）

- ・ 国語編（図表版・写真追加等）の進行、校正体制、今後工程を共有。
- ・ 直近の必要作業：写真選定、図表の権利・出典整理。
- ・ ：出版社提案・交渉は継続。会員から意見・感想を集約する。

(4) 11/22 防災減災体験フェア フォローアップ（担当：高松）

- ・ 参加実績・アンケート回収 73 枚の論点整理（場所、行政連携、開催日時、子ども向け工夫、協力拡大等）。
- ・ ：来年度は **5 月または 6 月**開催とする案が意見として提示。アンケート解析を踏まえ提案する。

(5) 神奈川大学エクステンション講座 実施報告（担当：高松）

- ・ 12/13・12/20 の 2 回実施、受講者 15 名。講義＋交流会（地域別／規模別）の情報交換が有効だった旨を共有。

- ・ 2026 年度案（例：地域防災拠点訓練の改善）について、役員会・定例会で提案・協議予定。

(6) 12/15 仙台女性防災リーダーネットワーク交流会 報告（担当：鷺山）

- ・ 有意義な交流であったこと、2 日目に北綱島小・太尾小訪問等を実施したことを共有。
- ・ ：交流内容を簡略版として会員向けに整理・共有する。

(7) 1/17 阪神・淡路大震災 被災地視察報告（田中晃 31 年の「教訓」）

- ・ 次回以降の共有素材として整理することを確認。

(8) 1/17 はまみらい みんなフォーラム参加報告（鷺山・伊藤・斉藤）

- ・ 現地子どもスタッフ参加等、教育的要素のあるイベントであった旨を共有。

3. 継続中・直近事業の確認（14:25～15:05）

(1) 第 210 回「防災コンテンツ交流会（1/22）」運営確認（担当・進行：中根）

- ・ 発表者・発表順・持ち時間、投影環境（PC/HDMI/Zoom 画面共有）を確認。
- ・ 記録（写真・動画・議事メモ）と HP 掲載方針（公開範囲）を確認。
- ・ タイムキーパー：田中喜世美。

(2) 第 211 回談義の会（2/19 木 13:30～）（担当：樋口）

- ・ テーマ「福祉としての防災を考える」講師：田中晃氏。チラシ公開済。
- ・ チラシ・広報（配布／HP 掲載／外部告知）の進捗を共有。

(3) 第 212 回談義の会（4/16 木）・巡検下見（2/19 午前）（担当：高松）

- ・ 下見：2/19 9:30 石川町駅南口集合（予定）。
- ・ ルート、安全管理、参加募集方法、講演依頼書等を確認。

(4) 県地域防災計画パブリックコメント（防災塾として提出）

- ・ 会員に資料送付・打診のうえ提出した旨を確認（締切：1/15）。
- ・ ：既存意見の管理・精査、条例レベル案の主張整理を担当者が継続。

（参考：賛助会員制度／次年度協賛獲得戦略／シンボルマーク名称募集は、事務局報告・協議事項と連動して扱う方針）

4. 事務局報告（15:05～15:20）

1. 来年度活動アンケート（Google フォーム）案の提示・配布計画
 - ・ 自薦・他薦・外部講師案の収集方法と締切（資料に基づき整理）。
2. 3 月役員会で案決定 → 4 月定例会で総会議案書確認、会員向け広報導線を整理。

5. 協議事項（15:20～16:10）

(1) 年度末に向けた PDCA

- ・ 今年度の成果・課題を整理し、次年度に引き継ぐ観点を共有。
- ・ 「2026 年度 防災まちづくり談義の会企画案」2 月に再募集
- ・ 3 月役員会にて次年度年間活動計画を含む総会資料作成

- 4月16日定例会で次年度活動計画審議

(2) 2026 年度（令和 8 年度）活動方針の方向性

- 談義の会／講座／交流会／HP／書籍の優先順位と連携を検討。

(3) 広報統合の検討（書籍・講座・HP・交流会の横断連携）

- 情報が散逸して「情報の迷子」にならないよう、媒体の役割分担・重複削減を検討。
- HP 改善の助言メンバー（グループ）設置の必要性、会員向け HP 投稿の講習会（Zoom 可）案が出された。

(4) 会員レポート／チラシ掲載ルール整理

- 掲載基準、事前確認、個人情報・著作権（写真含む）の扱いを整理する方針。

(5) 賛助会員募集（3 月の宣伝コラム案）

- 原稿担当、掲載先、締切、反響の測り方を今後詰める。

6. 今後の予定確認（16:10～16:25）

- 1/28（火）防災まちづくり大賞 現地調査（集合 15:30）関内第 2 研修室
- 2/19（木）午前：震災遺構巡検下見／午後：第 211 回談義の会
- 3/19（候補）役員会（会場：第 2 研修室候補）
- 4/16（木）第 212 回談義の会

7. 閉会（16:25～16:30）

- 次回までの宿題（担当・期限）を確認し、閉会。

決定事項・確認事項（整理）

1. 1/28 現地調査の説明ストーリー・持参資料を整え、会場（第 2 研修室）で対応する。
 2. 議事録は Zoom AI を併用しつつ、意思決定は会議の合意で確定する（運用原則の確認）。
 3. HP 運用は更新・削除を含め継続、掲載ルール整備と会員向け投稿支援（講習会案）を検討する。
 4. 防災減災体験フェアはアンケート解析結果を踏まえ、次年度の開催時期（5～6 月案等）で検討する。
-